

女王様の  
お気に  
まかせ





赤の女王

ワンダーランド  
この国を統治する  
最高権力者

気高く厳酷で  
誰もが畏れ敬う  
女王様に

逆らう者など  
誰もいない…

けれど

そんな彼には  
オレだけが知る

とある  
秘密がある—





女王陛下もまた  
男でありながら

ジュン

男とのお戯れが  
お好きらしい

…さて  
ジュン!

突然ですが  
自分とゲームを  
しませんか?











ですが逆に  
あなたが  
勝てば

あなたの命令を  
なんでも聞いて  
差し上げましょう

この赤の女王が  
あなたの  
犬になる…

そう申し上げて  
いるんですよ

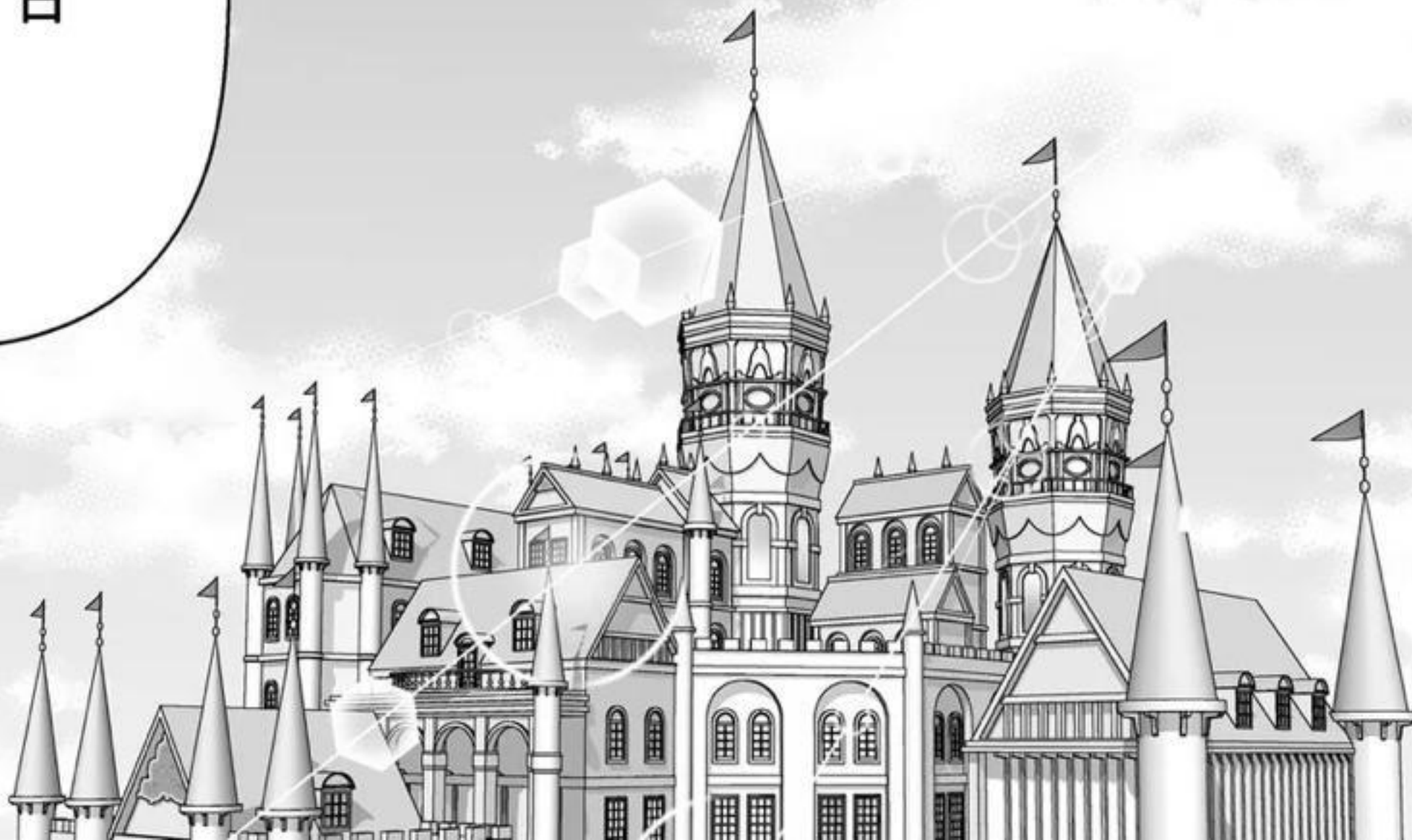
随分と  
自信があるん  
ですねえ…？

いえいえ  
とんでもない！

だって条件や報酬に  
差を付けてはフェアじゃ  
ないでしょう？

というわけで  
ジュン♪

明日一日  
よろしく  
お願いしますね







まさか…

あんなの冗談に  
決まってるじゃないですか…!!

まさか本気で  
信じちゃったん  
じゃないですか…!! (笑)

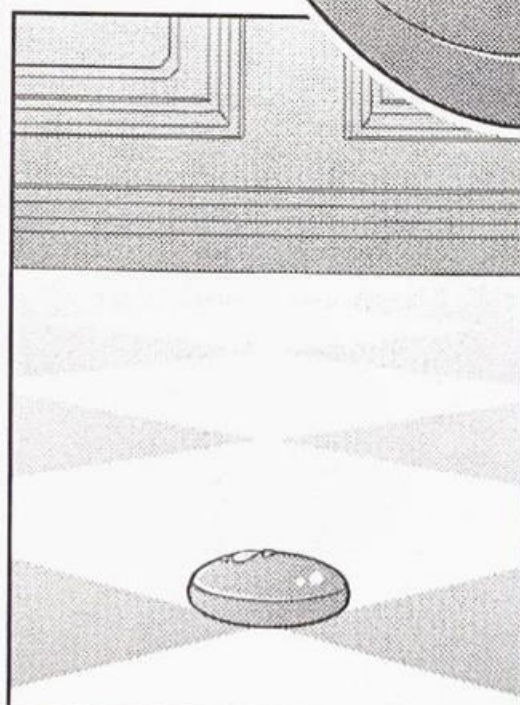


うん…

あんなものを  
入れているとは  
思えないくらい

普通なんす  
よねえ…







……これは

何だろう…

…「本当はケツに  
ローターなんて  
仕込んでなくて

はなから勝負する  
気なんてないんじや  
ないか」…

なんてジュンは  
考えているん  
でしようけれど

ちやあんと入れれますから♡

もちろん確実に  
勝ちに行くのなら  
そうするでしょうが

でもそんなのって  
興奮めでしょう？



異物感は  
ありますが…

いつもジュンのものを  
プチ込んでいるわけですし  
何てことありません

それにあのジュンが  
スイッチを押せるとは  
思えません

公衆の面前で  
女王の醜態を晒す…

忠直な臣下であれば  
普通ならできない  
でしょうしね

陛下の  
業ですから

…まあ  
スイッチを  
入れられた  
ところで

こんなちやちな  
オモチャごときに  
イカされるとは  
思えませんしねえ！

さあ…  
どんな風にいたぶって  
あげましょうか？

なあんて…☆

ボチ









その間の  
身の回りの  
世話はジュンに  
任せますから…

ジュンをここへ  
呼ぶように…

…いいですね…?

仰せのままに  
女王陛下

ジュンくんっ!!

おひいさん

探したねっ!!

まったくっ!!  
一体どこを  
ほっつき歩いて  
いるんだらうねっ!!



風砂くんが  
急にいなく  
なっちゃうのは  
仕方がないけど

ジュンくんまで  
ぼくに探す手間を  
取らせるのは  
許さないねっ！

はあ：  
すみません

ちよつと  
探し物を  
してまして

いなくなっちゃ  
だめだわ！

でもなんで  
陛下の側近の二人が  
こんなところに？

それがね

陛下はお体の  
具合が優れない  
みたいでね

……だから  
代わりに

ジュンは直ちに  
玉座の間へ  
向かうように

ぼくたちは  
追い出され  
ちゃったん  
だよねっ

……陛下の  
ご命令

陛下が……？  
オレを……!?

近頃の陛下は  
どうもジュンくんが  
お気に入りみたい  
だからね？

陛下の  
ご指名とはいえ  
くれぐれも粗相の  
ないようにねっ

挨拶してあるから  
鍵を持って  
いてねっ

……ところで





……ジュンの  
探し物って……

これの  
ことかな

GODDAMN!!!



……目の前に  
未知のボタンが  
あったら……

押すよね？



……押したよ



ナギ先輩……

まさかとは  
思うんですけど

そのボタン……  
押したりしてねえ  
っすよね……？



……それが  
新たな発見への  
第一歩……♪

はあ……

ふふ……

陛下に  
なんて言い訳  
すっかなあ……



陛下…？

入ります  
よろしく…

ガキヤ…

ビクッ

ビクッ

陛下…!?

ジユンラ…

もう無理

なま…

抜いて…

抜いてください…っ

本当に  
入れてたん  
ですねえ…？

ナニ…？

っ…

自分で抜いちゃえば  
いいのにオレが来るまで  
待ってたのか…？

変なところ  
律儀つすよねえ…





いいんすかあ？

陛下の負けになつちまいますよお…？

いっ…

自分の負けでいいですから

ジュンがほしいっ…

これ抜いて

ジュンのちんこ入れてくださいっ…！



ここでやる気ですかあ…!!

…



してあるんでしょお？

…！



…いいでしょう？

人払い

してあるんですから…



あ…

わかりましたよお…





…どうですか？  
陛下



玉座でセックス  
する気分は…っ









…捕まえた



こんな所でしてんのも  
ジユンのあんな顔も♡

全部全部  
やばい……♡♡♡

こんなの……♡  
おかしくなっ♡  
へんなのきそっ♡

くるッ……♡♡♡



ガッ

クッ













へいかつ

陛下...っ

オレもイクんで...っ!

ナカで全部受け止めてくださいねえ...!

やっ♡  
あ♡

あ♡

あ♡

あ♡



さて…

負けてしまい  
ましたね

まさかジユンが  
本当にスイツチを  
入れるとは思って  
いませんでした

十ヶ月前  
オレとわ…

約束は約束ですから  
あなたの命令を  
なんでも聞きますよ

そつすねえ…

あんた  
負けたらオレの  
犬になるって  
言いましたよね

…?

ええ

言葉の綾  
ですけどね

それが  
何か?

そんじゃ

あんたには  
文字通り

オレの犬になって  
もらいましょ  
うかねえ…?





ハッ！  
自分をも飼う？  
おつもりですか？

女王陛下を家畜と  
同等に扱うなど…  
本気で首を刎ね  
られたいようぞ

よく喋る  
犬ですねえ





…犬は  
なんて鳴くん  
でしたっけ？

女王様？

…わ…

わん…

おっと…

